

ISO14001：2015 自己適合宣言に関わる理事長ステートメント

公立大学法人 公立鳥取環境大学は7月1日付けで、国際規格 ISO14001：2015 の自己適合宣言を行います。

(経緯) 本学は2003年2月に国際規格の環境マネジメントシステム ISO14001 を認証取得し、2018年2月まで15年間、認証継続をして参りました。さらに2019年6月に鳥取県版環境管理システム TEAS I種:2018 を認証取得し、3年間環境保全活動に努めました。

どちらの環境マネジメントシステムも規格の要求事項を満足しつつ、内部監査、システム運営にも、学生の意見を反映する「学生参加型」という、本学独自のシステムを構築し学生、教職員が一体となり、運用してきました。

環境マネジメントシステム認証取得から18年が経過した今日、本学は環境マネジメントシステムを、外部審査に頼ることなく、自主的に運用できる水準に達したと判断するに至りました。そこで国際規格 ISO14001:2015 の規格適合のみならず、SDGsとの関連も明確にした環境マネジメントシステムを構築し、「自己適合宣言」を行います。

今後も本学は「公立鳥取環境大学環境方針」を遵守し、継続的な改善を行いつつ、地球環境の保全に寄与する所存です。

2022年7月1日

公立大学法人 公立鳥取環境大学

理事長 江崎 信芳